



R ANDO Style MINI COOPER S

NEW AERO GOOD DESIGN AWARD 2008 ENTRY CAR NO.370

PHOTO:小松英章 TEXT:堀口 潤
 調:エアロテックジャパン
 TEL:072-838-7744
 http://www.aero-tech.co.jp/

のボディシヤルは相当高く、知らぬ間にハマってしまつたオーナーは数多い。こつこつ書けば、このミニの内装を企画した同社の吉川氏もその一人で、エアロ開発だけで気持ちよくなることのできる、豊後川市にあるオーディオ&内装のスペシャリストショップ、ジェイブにインテリアの全面改装を依頼してしまつたほど。そして、この両者のコラボレーションによって、圧倒的なフルコンプリート状態のデモカーが仕上がつたのだ。

では、この一台の詳細を、肢体を構成するのは前後バンパースポイラー、サイドステップ、そしてオーバーフェンダー&カナードスポイラーキット、カーボン系アクセサリも充実し、バンパースクープやミラーカバー、ライセンスストップカバー、ルーフスポイラーなどを用意する。また、秀逸なのはこれまでにない新鮮なリアビューをみせつけてくれる左右オーバル出しのエキゾースト、オーバーフェンダーとの相乗効果によりワイド感を視覚的に強調してくれるスクレモノなのだ。が、なかには「オーバーフェンダーは私人のエアロを買わないと装着できないんだ」といふ人も少なくない。心配無用。純正バンパーに対

- SPEC
- フロントバンパー ¥81,900
 - サイドステップ ¥81,900
 - リアバンパー ¥81,900
 - ※上記3点フルキット ¥207,900
 - オーバーフェンダー&カナードスポイラーキット ¥71,400
 - オーバルデュアルフルマフラー ¥176,400
 - カーボンバンパースクープ ¥39,900
 - カーボンミラーカバー ¥29,400
 - カーボンライセンスストップカバー ¥12,600
 - カーボンリアスポイラー COMING SOON
- ファンオフのカラーリングが深まるセプリングITCスピリット(7X17)。特注のアラゴスタ車高調キットでオーバーフェンダーと相まり、抜群のビジュアル効果も放つ。ブレーキはブレンドGTキット



NEW AERO STYLING!!

一片側約3センチの幅を誇るオーバーフェンダー。7X17+30のホイールとスペーサー16ミリの装着を可能に。ロードはアラゴスタ車高調キットで
 ↓フォグに突かうエアスクープ状のデザインが斬新なバンパースポイラー、オーバーフェンダーへとつながるカナードがアクセントとして効果を発揮

→エッジの効いた直線基調のサイドステップがレーン。そのもの、オーバーフェンダーレスでも装着可能

→既存の銘柄にはない独特の形状を誇るリアバンパー。ワイド感を伝えるオーバーバル左右出しマフラーも相まって精神的印象を訴求

↓往年のシルエットフォーミュラを意欲した新しいカラーリングをもつレーシーな作り込みでR56クーバーSを劇的に



→純正リアウイングの上からカーボンを貼ったファンオフ品。今後、カーボン製・同デザインの製品版をリリース予定



INTERIOR CUSTOMIZE!! by Shape

→3けた近いプライスを誇るオーディション製ハイヴェンチ・アンブを計3基。魅せる効果も聞かせる音もクリアかつ臨場感たっぷり。トイというには本格派過ぎる...
 ↓ドア内張りも赤×黒のアルカンターラで、張り替えは、オーディオインストールともにシェイプの質の高い仕事が見える



↓これぞゴキ。メーターを助手席側に移動して、センター部にモニターをインストール。もちろん各部もアルカンターラ仕上げが施される



シルエットフォーミュラを意識したノスタルジックな装いが今、新しい!

時代時代にあられる最旬の素材を、積極的に手がけることで知られる高品質の国産ブランド、乱入。事実上、初めてといえるインパカーの第二作目は、かんはってまた自分へのご褒美に最適な、ノストイ感覚に満ちたR56クーバーS!!!

オールドファン感涙の赤×黒、シルエット風マシンメイク!
 オモチャに扱われるがごとく、それが小さなクルマの大きな楽しみ方のひとつであろう。乱入がプロデュースしたミニを眺めて痛切にそう思った。乱入といえは、自分たちが面白く感じたクルマのみを創作対象とするユニークな国産ブランド。系統や流行に頼りすぎず、マイクに取り組んでいるうえに、発想法がメーカーのそれじゃなく、わかりやすいほどユーザー感覚、この

R56クーバーS自体、とことん遊びに徹して製作されているのだ。
 外装コンセプトは、70年後半から80年代前半の日本のレースシーンを彩つたシルエットフォーミュラ。市販車に似せたプリプリのエアロフキマシンをモチーフにしているワケだが、オールドファンのなかにはこの赤×黒のカラーリングを見た瞬間に「ヤリ、のヒトもいるハズだ。そう、ターゲットは往時を多感な青春期として過ごしたアダルト層。仕事も安定し、それなりに落ち着いた自分自身に捧げるプレゼント

応ずる12ピイスからなるキットも扱がりなく開発されている。なんせ大人がハマるノストイですからね、かえってハンパないんです。そしてホイールには特注レッドペイント仕様となるセプリングITCスピリットを、足まわりはこれまたスペシャリストセプリングとなるアラゴスタ車高調キットでキリと締め上げ。ブレンドGTキットも装着して盤石なるフットワークぶりも披露してくれる。

内装は前述のシェイプによる魅力たっぷりのオーディオキット、センターメーターを助手席側に移動してのモニターインストール、シートをはじめとする各部のアルカンターラ張り替え、リアセクションをまるごと消してのオーディション製アンパックスのディスプレイなどなど、見どころたっぷり。見た目は下派手ながらハイファイ系サウンドが追求されている点が大人なのだ。